

折に触れ 四字熟語

NO. 326 〔震天動地〕 しんてん どうち

< 意味 > 大事件が起こることの形容。勢いや音などが、人を驚かすほどに激しく大きいさま。天地を震動させる意。また、そのような大音響や大騒動のこと。『天を震^{ふる}わし地を動かす』と訓読する。

< 出典 > 『水経注』^{すいけいちゅう} 河水^{かすい}

表 言 : 震天動地の大事件

用 例 : その裾野の一角にあつて、咲^さ耶^く子^やがふったただ一本の笛の先から、震天動地の雲はゆるぎだした。<吉川英治・神州天馬俠>

一 言 : もう1か月が経ちましたが、ミャンマー中部を震源に3月28日に発生したマグニチュード7.7の地震は被害が隣国タイ他にも及び大きな被害が生じています。建設中の高層ビルが倒壊するニュース画面には衝撃を受けました。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」